

飯沼 賢司 教授 プロフィール



1980 年 早稲田大学大学院文学研究科日本史専攻博士前期課程修了、後期課程入学。

1985 年早稲田大学文学部助手

1987 年 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館研究員。
現在、別府大学文学部教授、同大学院文学研究科長。

専門は、日本古代中世史、家族史、1996 年から環境歴史学を提唱、ヒトと自然の関係の歴史学に注目、日本の古代から中世を中心に研究を進めてきた。近年はさまざまな分析科学・生態学など諸分野との共同研究を積極的に行っている。

主著 『環境歴史学とはなにか』（山川出版社 2004 年）、『八幡神とはなにか』（角川書店 2004 年）、『日本列島の三万五千年—人と新鮮の環境史 2 野と原の環境史』（湯本貴和編責任編集 佐藤宏之・飯沼賢司責任編集 文一総合出版 2011 年）、「環境歴史学序説—荘園の開発と自然環境」（『民衆史研究』61 号 2000 年）、「銭は銅材料となるのか」（小田富士雄・平尾良光・飯沼賢司編『経筒が語る中世の世界』 思文閣出版 2008 年）。